報道関係各位

青山商事株式会社

2026 年 11 月 18 日

持続可能な循環型社会を目指して
衣類回収と森林保全のつながりを「AOYAMAの水」で伝える
高知県椿原町で採水したオリジナル飲料水、青山商事の関係者へ配布

青山商事株式会社（本社：広島県福山市／代表取締役社長：遠藤 泰三）は、一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）、高知県椿原（ゆすはら）町との「森林保全に関する連携協定」に基づき、椿原町の地域資源『水』を活用したオリジナル飲料水を製作し、11 月 25 日（水）の商品展示会から関係者への配布を開始します。当社は、資源循環プロジェクト「WEAR SHiFT（ウエア シフト）」の一環として、お客様から回収した使用済み衣類の量に応じた寄付を森林保全団体 more trees へ行い、椿原町にて「AOYAMA の森」を育んでいます。オリジナル飲料水「AOYAMA の水」は、ステークホルダーとともに持続可能な循環型社会を目指すコミュニケーションツールとして活用してまいります。



AOYAMA の水

アパレル業界では、原材料調達から製造に至る過程での大量な水資源の消費が共通の環境課題となっており※、当社としても水資源の保全と持続可能な利用は事業活動における課題の一つと認識しています。当社は、2022 年度に森林保全団体 more trees と高知県椿原町の三者で「森林保全に関する連携協定」を締結し、「AOYAMA の森」づくりを始めました。「洋服の青山」や「スーツスクエア」などでお客様から回収した衣類の量に応じた寄付で行う森林保全は、長い年月をかけて雨水を浄化する水源涵養機能の高い森へと育ちます。その活動の大切さをより身近に感じていただくため、森林保全の活動地域である高知県椿原町で採水した「AOYAMA の水」を製作しました。水資源への責任を意識する企業として、本製品を通じて、ステークホルダーの皆さまへ自然資本の大切さを共有し、一緒に資源循環の取り組みを広げてまいります。

※出典：環境省「サステナブルファッションの推進に向けたアクションプラン～2030 年廃棄量 25%削減に向けて～」（2026 年 3 月）

◎青山商事の森林保全活動について　　◎資源循環プロジェクト「WEAR SHiFT」について

「AOYAMA の水」製品概要

採　水　地：高知県高岡郡椿原町
仕様・容量：リサイクル PET100%のボトル／500ml／非売品
ボトルラベル：森林保全団体 more trees 監修。AOYAMA の森へ実際に植えた樹（イロハモミジ・コナラ・イスノキ・オニグルミ）の葉をデザイン。
配布用途：商品展示会、学生へのキャリア形成支援プログラム（SDGs オープン・カンパニー）、環境啓発イベントなどでの配布。また、当社のステークホルダーへ向けた配布。

アパレル業界初「自然共生サイト（回復タイプ）」認定と 30by30 への貢献

■多様性のある森づくり活動「AOYAMA の森」

当社は、2022 年度に森林保全団体 more trees と高知県椋原町の三者で「森林保全に関する連携協定」を締結し、「AOYAMA の森」づくりを椋原町仲洞地区にて始動しました。2025 年度には森を 2 拠点へ拡大し、同町井高地区の針葉樹皆伐跡地でも植樹活動を開始。2025 年度末時点での植樹は累計 6,482 本となります。AOYAMA の森では、地域に適した針葉樹と広葉樹を育林する『多様性のある森づくり』をしており、その活動は、CO2 の吸収だけでなく土砂崩れの抑制や、雨水を蓄えて浄化する水源涵養機能の回復にもつながります。

■自然共生サイトへの認定

2026 年 6 月末に 1 拠点目の「AOYAMA の森（仲洞地区）」が地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト※」において、アパレル業界が携わる森として国内初となる『回復タイプ』の認定を受けました。なお、自然共生サイトには、維持・回復・創出の 3 つの活動タイプがあります。また当社は、2030 年までに陸と海の 30%以上を保全する国際目標に向け、環境省が推進する「生物多様性のための 30by30（サーティ・バイ・サーティ）アライアンス」へ 2025 年 10 月に加盟しています。本活動を通じて、ネイチャーポジティブの実現に貢献してまいります。

※自然共生サイトとは、企業などの取り組みによって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度です。

◎参照 URL：環境省サイトより「30by30 アライアンス」
https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/index.html#alliance



AOYAMA の森（仲洞地区）

森林空間を活用した次世代育成

■SDGs オープン・カンパニーの開催

当社では一般社団法人 more trees と協働し、2024 年度より学生へのキャリア形成支援を目的とした『SDGs オープン・カンパニー』を「AOYAMA の森」で開催しています。学生を高知県椋原町へ招待し、森林の現状とアパレル業界が抱える環境課題のオリエンテーションやグループワークを実施しています。また、学生が「AOYAMA の森」での植樹体験などを通して、環境保全の仕組みや大切さを学ぶと共に、自身でできる社会貢献と将来のキャリアを考える機会の創出を目指しています。

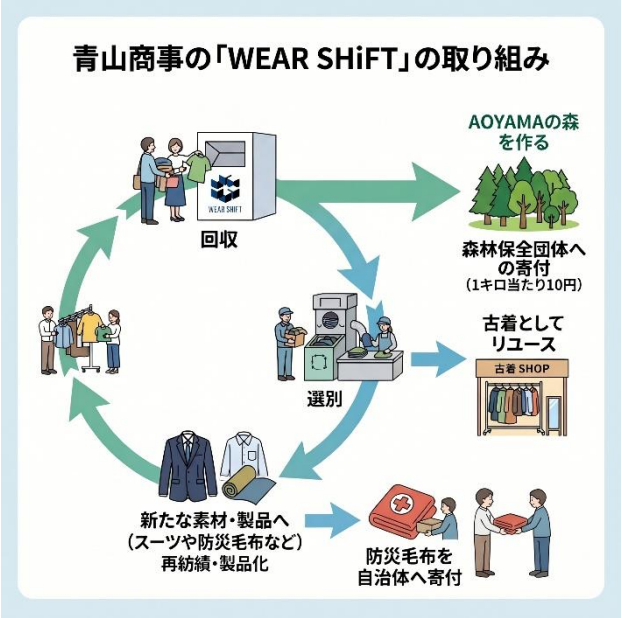
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

《本件に関するお問い合わせ先》
青山商事株式会社　東京オフィス　広報部　岩永、生田
〒110-0005 東京都台東区上野 4-5-10 青山上野ビル 7 階
TEL:03（5846）5656　MAIL: pr@aoyama-syouji.co.jp

お客様からの衣類回収を起点とした資源循環プロジェクト

■資源循環プロジェクト WEAR SHiFT

全国 47 都道府県にある「洋服の青山」「スーツスクエア」（合計 719 拠点：2026 年 9 月末時点）へ繊維廃棄物 100%を原料とした『リサイクリング BOX』を設置し、お客様から使用済みの衣類を回収しています。回収衣類は、国内大手の繊維リサイクル企業であるファイバーシーディーエム株式会社と業務提携し、リユースできる物は海外で古着として流通し、リサイクルでは防災毛布（災害支援用リサイクル毛布）やスーツ・コートなど新たな製品として生まれ変わるほか、車の断熱材・荷物の緩衝材に利用しています。このプロジェクトは、再生した防災毛布の寄贈を通じて自治体の災害対策を支援することや、一般社団法人 more trees への寄付による森林保全の取り組みにもつながっています。



※本画像は生成 AI にて作成しています

本取組は、環境省が主催する第 12 回グッドライフアワードにて『環境大臣賞 優秀賞』を受賞しました。

高知県梼原町について



高知県北西部に位置する梼原町は、町面積の約 9 割を森林が占めています。自然との共生を目指す同町は「環境モデル都市」に認定され、先進的な環境の取り組みを行っています。特に、風力や小水力、太陽光を活用した自然エネルギーの導入や、FSC 認証を取得した持続可能な森林管理による地域の脱炭素化を推進しています。また、建築家 隈研吾氏による豊かな木材を生かした美しい建築が点在しており、環境への配慮と世界的建築が融合した魅力的な町として国内外から注目を集めています。

（HP：https://www.town.yusuhara.lg.jp/）

一般社団法人 more trees について



一般社団法人 more trees は、音楽家 坂本龍一氏が発起人となって、森林破壊と地球温暖化の危機的状況に行動を起こすため 100 名以上の賛同人と共に 2007 年に設立され、現在は建築家 隈研吾氏が代表を務める森林保全団体です。地域との協働で森林保全を行う more trees は、森の展開、国産材を活用した商品やサービスの企画・開発、セミナーやイベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードに「森と人がずっとともに生きる社会」を目指した、さまざまな取り組みを行っています。

（HP：https://www.more-trees.org/）